

受け継がれる歴史と伝統 麻里布小学校 開校 150 周年記念事業・式典

岩国市立麻里布小学校は、令和 5 年 1 月に開校 150 年を迎え、1 月 27 日（金曜日）に講堂で、記念式典を挙行了いたしました。

本校は、学制発布により公立小学校として今津小学校（現今津町 5 丁目）が明治 6 年 1 月に創設されました。その後、明治 44 年に麻里布尋常高等小学校と名前を変え、現在の位置に新築移転されました。途中、幾多の変遷を経て、多くの卒業生を輩出しながら現在に至っています。

皆様からの多大なるご支援により、記憶と記録に残る記念事業に取り組むことができました。厚くお礼申し上げます。式典の様子とともにご紹介させていただきます。

開校 150 周年記念事業の紹介

○学校旗新調



○「まりふの森」改修



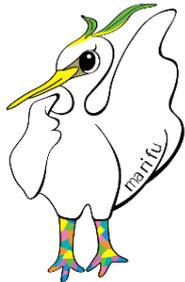
○岩石園改修



○学校上空撮影 ※児童配付下敷に掲載



○記念キャラクター「まりサギ」作成



○「まりサギ」「まりニャン」看板設置



開校 150 周年式典の様子

式典当日は、岩国市副市長 杉岡匡様、岩国市教育委員会教育長 守山敏晴様、開校 150 周年記念事業委員会委員長 安達敏雄様のほか、15 名の来賓にご臨席を賜り、式場に列席した 4・5・6 年生と各教室からオンラインで参加した 1・2・3 年生とともに学校の節目を祝いました。

式典は、金管クラブと演劇クラブによる迫力あるオープニングで幕を開けました。



記念事業委員長からは、「150周年を祝えることは本当にうれしい。多くの方々が協力してくれて記念事業ができました。児童の皆さんはこうした方々に感謝の気持ちを持ち、大人になって学校に協力できる人になってほしい。」とご挨拶をいただきました。

校長は、「全ての卒業生が麻里布小学校を誇りに思っています。式典に参加した児童の皆さんは、この学校で生活していることを誇りに思い、これからの学校の新しい歴史を作っていくしてほしい。」と挨拶の中で申し述べました。

副市長からは、「児童の皆さんは、多くの先輩達が築いてこられた歴史と伝統をしっかりと受け継いでいただき、それぞれの夢に向かって力強く未来を切り開いていってください。そして、これからもずっと学校を大事に大切に思い続けてください。」と祝辞をいただきました。



その後、開校150周年記念事業の紹介がありました。新調された校旗は、安達委員長から校長へ、そして代表児童へと手渡されました。真新しい校旗は、学校のシンボルとして、50年後の開校200周年に向けて、児童を見守ってくれることでしょう。



式の後半には、150周年を記念して児童と職員が制作した学校紹介映像が上映されました。映像ではドローンで上空撮影された麻里布小学校区や各学年が集合した映像、現在の麻里布小学校の取組が紹介されました。映像を通して、現在の麻里布小学校の素晴らしさを再確認することで、これからも麻里布小学校の伝統と歴史を未来へと繋げていこうという気持ちが高まりました。

児童代表挨拶では、6年生の大黒屋旭さんが、「楽しく登校できたのは先生や地域の皆さんのおかげです。これからも麻里布小学校の歴史が長く続いてほしいと思います。」と発表しました。

式典後には、「麻里布地域の歴史と未来」と題して、元岩国地区消防組合消防長の國清 宏様から講演をいただきました。麻里布校区の干拓の歴史や、校区内に現在も残る歴史的な史跡について分かりやすく解説していただき、麻里布校区への理解を深めるとともに、さらに麻里布の町を大切にしていこうとする気持ちを高めることができました。



開校150周年に際し、地域の方をはじめたくさんの方に物心両面からのご協力・ご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

麻里布小学校は、地域の皆様とともに新しい歴史づくりに邁進いたします。